北海道防災教育アドバイザー プロフィールカード

令和6年9月1日現在

| (1)氏名 又は 団体名 | 山岳医療救助機構【代表(医療担当):大城和恵、(救助担当):村上 | 富一】 |
|---------------|---|-------|
| (2)職業 | | |
| (3) 防災教育分野に係る | 団体:国際山岳医療救助協議会(ICAR)加盟 大城:医師(医学博士)、英国国 | |
| 資格又は職歴 | 際山岳医、国際登山医学会副会長、全国警察山岳遭難救助アドバイザー、警察 | |
| | 庁全国山岳遭難救助指導者研修会講師、消防庁消防大学校救助課講師、国 | |
| | 立登山研修所専門調査員等 村上:元北海道警察山岳遭難救助対策 | 食官 (航 |
| | 空隊、機動隊、山岳遭難救助隊の指揮官として、山岳遭難・水難・各種 | 重災害現 |
| | 場における豊富な救助経験) | |
| (4)対応可能分野 | ア) 地域の自然災害リスクや過去の被災経験の解説 (該当に〇印) | |
| ※該当に○印 | 地震・津波災害() 気象災害() 火山災害() | |
| | イ)メディア等による災害情報の活用 | |
| | ウ)減災対策 | |
| | 工)避難所運営 | |
| | オ)避難所運営ゲーム北海道版(Do はぐ)等の教材活用 | |
| | キ)防災訓練のシナリオや防災研修の企画立案等 | |
| | ケ)避難計画や災害時事業計画等 | |
| | コ) その他 | |
| | ①山岳遭難事故防止対策 | |
| | ②低体温症の発症防止、発症時の処置 | |
| (5)講演や指導、助言 | ・御嶽山噴火災害の調査から(救助活動における活動と医療的問題) | |
| できる具体的内容 | ・各種災害における被災者の自助対策 | |
| | ・山岳遭難における医療面からの解説及び予防指導と発生時の対策 | |
| | ・寒冷期の避難所における低体温症対策 | |
| | ・暴風雪、津波災害における低体温症対策 | |
| (6) 最近の活動内容 | 全国山岳遭難救助協議会(スポーツ庁主催)講師,文部科学省南極地域観測統 | |
| ※講演実施や取組支 | 合推進本部委員、国土交通省知床遊覧船事故対策検討委員会(水温検討第 | |
| 援、テレビ出演等 | 三者委員会), 国立登山研修所主催安全登山セミナー講師、スポーツ庁・国立登 | |
| | 山研修所後援アウトドアファーストエイド講習会, 北海道警察山岳ファーストエイド | |
| | セミナー講師、日本山岳会北海道支部雪崩セミナー講師、NHK テレビ「明日をま | |
| | もるナビ」、FM ヨコハマ「SUNSTAR WEEKEND JOURNEY」、CBC ラジオ「北野 | |
| | 誠のズバリ」、テレビ朝日「ビートたけしの TV タックル」、フジテレビ「めざましテレビ」、 | |
| | TBS ラジオ「荻上チキ Session」、STV ラジオ「吉川のりお スーパーLIVE」、NHK | |
| | テレビ「100 カメ」、読売テレビ 「情報ライブ ミヤネ屋」 | |